

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名		鍼灸基礎実技Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	5階実技室
担 当 教 員		鈴木次郎	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》							
鍼術・灸術の基礎知識を学ぶ。また、はり師・きゅう師の基礎となる技術を習得する。前半は、人体に施術を行う前段階を行い、正しい技術と過誤・副作用の知識および対策を身につけることが重要である。また、後半の人体への施術のために、特に消毒の概念と技術を身につける。配布資料を用いた講義、道具を用いた刺鍼・施灸の練習を行い、後半は人体への刺鍼・施灸の実技を行う。							
《成績評価の方法と基準》							
1. 定期試験(実技試験) 80% 2. 中間試験(実技試験) 20%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
鍼具・灸具・プリント ずっと使える！鍼灸臨床BOOK. 滋慶出版/つちや書店 はりきゅう理論 第3版/医道の日本社							
《授業外における学習方法》							
前解剖学Ⅰ(骨・筋)の資料確認、経絡経穴学の教科書・資料を確認し授業にのぞむ							
《履修に当たっての留意点》							
鍼灸治療をする上で、最も基本で最も重要となる技術を学びます。鍼灸師としての『手』を作ると共に、人体への施術をする準備をしています。授業中の練習だけではうまくなりません。個人練習が上達への近道、自宅での個人練習を徹底してください。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション 鍼の基礎知識、鍼具・きゅう具の確認を修得する		プリント 鍼具・灸具	鍼施術のイメージ 灸施術のイメージ	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 鍼の基礎知識、鍼具・きゅう具の確認				
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	鍼術の一連の流れと刺入法、片手挿管法を修得する		プリント 鍼具	鍼具の確認	
		各コマにおける授業予定	鍼術の一連の流れと刺入法、片手挿管法				
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	灸の基礎知識、艾炷の作成方法を修得する		プリント 鍼具・灸具	片手挿管法、灸具の確認	
		各コマにおける授業予定	灸の基礎知識、艾炷の作成方法				
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	灸術の種類、艾炷の作成方法を修得する		プリント 鍼具・灸具	艾炷の作成手順の確認	
		各コマにおける授業予定	灸術の種類、艾炷の作成方法				
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	鍼灸治療の注意事項(刺激量・感受性)、刺入法(旋撚刺法・送り込み刺法)を修得する		プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法 の確認、艾炷の作成方法の確認	
		各コマにおける授業予定	鍼灸治療の注意事項(刺激量・感受性)、刺入法(旋撚刺法・送り込み刺法)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	異なる鍼による刺入法(旋撚刺法・送り込み刺法)を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	異なる鍼による刺入法(旋撚刺法・送り込み刺法)		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本17手技(単刺術・置鍼術・雀啄術・旋撚術・回旋術)を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	基本17手技(単刺術・置鍼術・雀啄術・旋撚術・回旋術)		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本17手技(雀啄術・旋撚術・回旋術)を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	基本17手技(雀啄術・旋撚術・回旋術)		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	線香の基礎知識、艾炷への点火方法を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	線香の基礎知識、艾炷への点火方法		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	艾炷への安全で正確な点火を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	艾炷への安全で正確な点火		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本17手技(振せん術・間歇術・屋漏術・随鍼術)を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	基本17手技(振せん術・間歇術・屋漏術・随鍼術)		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	異なる鍼による基本17手技(雀啄術・旋撚術・回旋術)を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	異なる鍼による基本17手技(雀啄術・旋撚術・回旋術)		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	知熱灸を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	知熱灸		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	知熱灸を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	知熱灸		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本17手技(鍼管を用いる手技:副刺激術・示指打法・内調術・細指術)を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	基本17手技(鍼管を用いる手技:副刺激術・示指打法・内調術・細指術)		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分		専門分野	授業の方法	実習	
科 目 名		鍼灸基礎実技Ⅰ		必修/選択の別		必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)	
対 象 学 年		1年生		学期及び曜時限		前期	教室名	5階実技室	
担 当 教 員		鈴木次郎		実務経験と その関連資格					
《授業科目における学習内容》									
鍼術・灸術の基礎知識を学ぶ。また、はり師・きゅう師の基礎となる技術を習得する。前半は、人体に施術を行う前段階を行い、正しい技術と過誤・副作用の知識および対策を身につけることが重要である。また、後半の人体への施術のために、特に消毒の概念と技術を身につける。配布資料を用いた講義、道具を用いた刺鍼・施灸の練習を行い、後半は人体への刺鍼・施灸の実技を行う。									
《成績評価の方法と基準》									
1. 定期試験(実技試験) 80% 2. 中間試験(実技試験) 20%									
《使用教材(教科書)及び参考図書》									
鍼具・灸具・プリント ずっと使える！鍼灸臨床BOOK. 滋慶出版/つちや書店 はりきゅう理論 第3版/医道の日本社									
《授業外における学習方法》									
前解剖学Ⅰ(骨・筋)の資料確認、経絡経穴学の教科書・資料を確認し授業にのぞむ									
《履修に当たっての留意点》									
鍼灸治療をする上で、最も基本で最も重要となる技術を学びます。鍼灸師としての『手』を作ると共に、人体への施術をする準備をしていきます。授業中の練習だけではうまくなりません。個人練習が上達への近道、自宅での個人練習を徹底してください。									
授業の方法		内 容				使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	副刺激術・示指打法・内調術・細指術を修得する			プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認		
		各コマにおける授業予定	副刺激術・示指打法・内調術・細指術						
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	片手挿管法、刺入法、手技が実践できる			プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認		
		各コマにおける授業予定	前半の鍼術の復習						
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	米粒大・半米粒大の艾炷の作成・点火・消火が実践できる			プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認		
		各コマにおける授業予定	前半の灸術の復習						
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	鍼灸施術における消毒法を修得する			プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認		
		各コマにおける授業予定	鍼灸施術における消毒法						
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	鍼灸施術における消毒法を修得する			プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認		
		各コマにおける授業予定	鍼灸施術における消毒法						

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	鍼灸施術における安全で正確な消毒法と施術を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	鍼灸施術における安全で正確な消毒法と施術		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	鍼灸施術における安全で正確な消毒法と施術を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	鍼灸施術における安全で正確な消毒法と施術		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	人体(自身)への鍼施術を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	人体(自身)への鍼施術		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	人体(自身)への鍼施術を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	人体(自身)への鍼施術		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	人体(自身)への灸施術を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	人体(自身)への灸施術		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	人体(自身)への灸施術を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	人体(自身)への灸施術		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	人体への鍼施術を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	人体への鍼施術		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	人体への灸施術を修得する	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	人体への灸施術		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全で正確に基本的な鍼灸施術が実践できる	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	まとめ 評価確認		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全で正確に基本的な鍼灸施術が実践できる	プリント 鍼具・灸具	鍼具・灸具の確認、片手挿管法の確認、艾炷の作成方法の確認
		各コマにおける授業予定	まとめ 評価確認		